

科目名	単位数	学年	必修・選択	備考
数学Ⅲ	6	3	選択	理型

1. 科目の概要・学習目標

平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法及び積分法についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

2. 成績・評価・観点の割合（観点別評価の重みもここで記載）

(1) テスト：提出物等＝85：15

(2) 評価は「定期考査・確認テスト・提出物・振り返りシート・授業態度」を数値化して行う。

1、2学期は素点を付け、学年末には5段階評価を付ける。

【年間の評価方法】

1，2，3学期評価（100点満点）を平均して算出し，5段階の評定に換算する。

80点以上…5， 79～65点…4， 64～50点…3， 49～35点…2， 34点以下…1

3. 使用教科書・副教材

(1) 改訂版 高等学校 数学Ⅲ（数研出版）

(2) 改訂版 4プロセス（数研出版）

4. 授業展開・形態・方法（授業の進め方、受講に当たって臨む態度、少人数・習熟度など）

2クラス開設。標準クラスは基礎基本の定着を図る。応用クラスは発展的な内容の演習も行う。

これまで以上に深い思考を楽しむ気持ちで受講に臨んで欲しい。

5. 学習方法・学習のポイント（自学の進め方、予習・復習の方法など）

スタディーサプリや副読本を活用し，きちんと家庭学習を行うこと。